吉備スマートインターチェンジ改築事業に伴う事後評価業務委託
特記仕様書追加事項

1.業務目的

本業務は、令和8年2月にリニューアル開通（24時間化・大型車対応）した吉備スマートインターチェンジ（以後、「吉備スマートIC」で記載）について、最新の将来交通量推計、費用便益分析、整備効果の検討等を実施し、事後評価資料を作成することを目的とする。

2.業務内容

2.1.計画準備

本業務の目的・主旨を把握し、業務内容を確認したうえで、業務計画書を作成するとともに、業務に必要な資料の収集・整理を行う。

2.2.将来交通量推計

貸与する平成27年道路交通センサスベースの交通量配分データをもとに、下表に示すケースの将来交通量を推計する。交通量配分手法はMGTR法（Minimum Generalized Time Route Search Method）を用いた転換率併用型分割配分法とする。

●表　将来交通量推計ケース

ケース	基本ネットワーク	吉備スマートIC
1	事業化ネットワーク	未供用
2	〃	既供用(R8.1以前の供用形態)
3	〃	完成供用

※基本となる交通量配分データ(事業化ネット)は貸与する。

2.3.費用便益分析

将来交通量推計結果と各年度の事業費をもとに、吉備スマートICの費用便益比を算出する。

2.4. ヒアリング調査

吉備スマート IC を利用する企業に対し、対面ヒアリング等により吉備スマート IC の利用状況や整備効果を調査する。

①吉備スマート IC を利用する大型車の企業名をビデオ調査より把握する。

【上り下り×出入りの 4 方向 24 時間ビデオ調査】

②利用企業に対し、物流の概要や吉備スマート IC の整備効果を対面ヒアリング又はアンケート形式で調査する。

【利用頻度、利用時間帯等を考慮したうえで 5 社程度を対象とする。】

2.5. 整備効果の検討

以下に示す調査結果等より吉備スマート IC とアクセス道路である市道辛川市場佐山線の整備効果を検討する。

また、検討結果をパワーポイント等で説明資料に取りまとめる。

・交通実態調査結果※1

・高速道路利用状況※1

・ヒアリング調査結果

・ETC2.0 データによる集計結果(供用前後の時間帯別路線別旅行速度・供用前後の岡山 IC、吉備 SIC の利用経路等)※2

※1：国、NEXCO の資料を含め貸与する。

※2：国が解析した結果を貸与する。(本業務には ETC2.0 基データの解析は含まない)

2.6. 事後評価資料の作成

本業務の検討結果、過年度の交通量調査結果等より、吉備スマート IC 及び市道辛川市場佐山線の事業概要、事業目的、事業評価指標、整備効果等を取りまとめた事後評価資料（道路事業に係る事後評価調書）を作成する。

2.7. 報告書作成

業務成果について報告書に取りまとめる。

2.8. 打合せ協議

業務を行う上で必要な協議を行う。(3 回：業務着手時、中間時、業務完了時)